

三重創生ファンタジスタ 資格認定副専攻コース 履修ガイド2020

三重創生ファンタジスタ資格とは

三重県では、県内の全高等教育機関（四年制大学、短期大学、高等専門学校）と県内企業、自治体が協力して、地域イノベーションに貢献する人材三重創生ファンタジスタ※を養成しています。

所定の単位を修得し、三重県の地域課題に取り組む能力を身につけた学生には、三重創生ファンタジスタ資格を付与し、地域で活躍できる人材であることを証明しています。

三重創生ファンタジスタ資格を取得するためには、まず、「三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コース意向届」を提出しなければなりません。

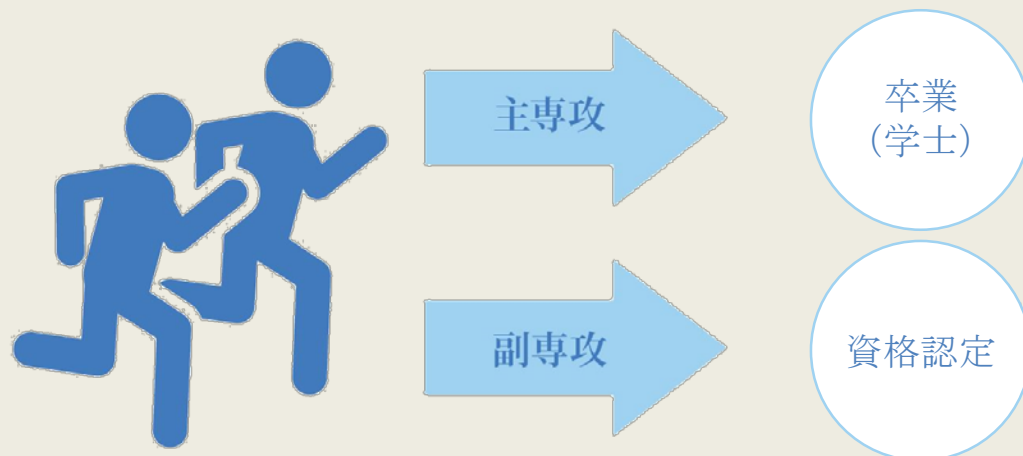
※三重創生ファンタジスタとは、状況や事態を的確に把握し、複眼的な視点から柔軟で想像力と創造力に富んだ発想と思考ができ、行動力とリーダーシップを発揮しながら、周りの人と協働できる人材のことです。詳細は下記URLを参考にしてください。

<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/for-students/>

NEXT : 副専攻コースとは？

副専攻コースとは①

副専攻コースとは、自分の所属する学部の履修案内等に記載される「卒業単位数」で認定される教育カリキュラム（学生自身が所属する学部＝主専攻）とは異なり、学部を越えて学ぶことができる科目を含む教育カリキュラムのことを言います。学部は関係なく、希望した全学生が資格認定副専攻コースを受講でき、資格認定副専攻コースを受講することで、主専攻で学修した内容の補強や主専攻以外の第二の強みを獲得できます。



修了者には認定書を発行

副専攻コースとは②

三重大学では「食と観光」「次世代産業」「医療・健康・福祉」「教育」「文化・社会・公共」の5つの分野に強い人材を育てることを目標としています。また、各分野にはテーマに即した科目のラインナップが用意されています。具体的には、「地域志向科目群」「地域実践交流科目群」「地域イノベーション学科目群」の3つの科目群が用意されており、「地域志向科目群」から4単位以上、「地域実践交流科目群」から2単位以上、「地域イノベーション学科目群」から2単位以上、3つの科目群から12単位以上を修得することで、各分野における地方創生のエンジンとして活躍できる人材が育成されるようになっています。

NEXT : 3つの科目群について

3つの科目群について（概要）

地域志向科目群（4単位以上）

- ・三重県の自然・地理・歴史・文化・産業・教育・医療の実態について学ぶ
- ・講義形式中心（ゲストスピーカーによる講義を一部含む）
- ・創造力・問題発見・探求力・郷土愛（郷土に対する興味と感心）を養う

地域実践交流科目群（2単位以上）

- ・地域に入り、地域の活動に参画することを通して、現状や課題を体験的に理解する
- ・PBL セミナー、熟議・討論型授業、インターンシップ、実習（現地・現場）
- ・コミュニケーション力、実践・行動力、情報収集・分析力、理解・判断力を養う

地域イノベーション学科目群（2単位以上）

- ・地域の人と協働しながら、地域や産業の活性化・再生にむけたプロジェクトや共同研究を組織し、アイデアやプランを提案する
- ・プロジェクト、共同研究、プレゼンテーション
- ・柔軟な発想・構想力、複眼的・俯瞰的な思考、企画・計画力、リーダーシップを養う

NEXT：資格取得までの大きな流れ

資格取得までの大きな流れ①

三重創生ファンタジスタ資格の取得のためには、まず「意向届」を地域人材教育開発機構へ提出してください。意向届の提出をもって、資格認定副専攻コースへの登録が完了します。意向届の提出はこちら（Googleフォーム）から入力してください。

<https://forms.gle/CcFRKEbiSCSg1vjA9>

提出の際には、「食と観光」「次世代産業」「医療・健康・福祉」「教育」「文化・社会・公共」の5つの分野の中から1つを選んでください。

意向届の提出後、所定の単位数を修得することで三重創生ファンタジスタ資格を取得することができます。なお、地域実践交流科目群と地域イノベーション学科目群は、登録した分野の授業科目を選択してください。

学部別の科目一覧、履修モデルはこちらを参考にしてください。

<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/for-students/mie-u.html>

資格取得までの大きな流れ②

GOAL

三重創生ファンタジスタ

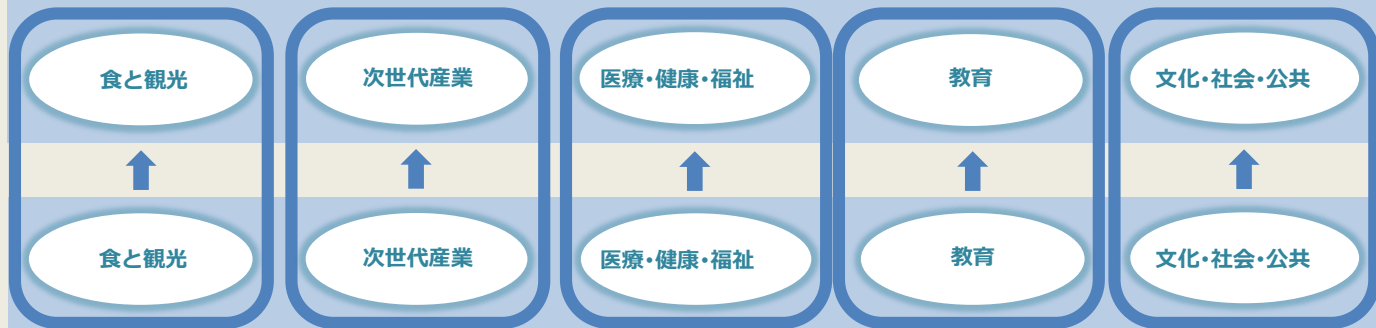
※資格認定は卒業時（就職活動時には学修証明書を発行）



合計12単位を修得後、「学びの振り返り・成果」を提出



地域イノベーション学科目群から2単位以上修得（登録した分野の授業科目を選択）



地域実践交流科目群から2単位以上修得（登録した分野の授業科目を選択）



地域志向科目群から4単位以上（スタートアップPBLセミナー+2単位以上）修得



START

意向届を提出（分野の登録）

証明書の活用について

「三重創生ファンタジスタ資格」は、就職活動時のアピールポイントになります。発行された学修証明書（2017年度入学生は「資格取得見込証明書」）をぜひ活用して、面接に臨んでください。

【使い方】

- ・履歴書やエントリーシートの資格欄に「**三重創生ファンタジスタ資格取得見込**」と記載する
- ・メールで送られる三重創生ファンタジスタ資格学修証明書（又は「資格取得見込証明書」）を持って企業の面接に臨む
- ・面接で自身が学んできたことなどを話す
（面接のイメージ動画）<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/about/qualification-enlightenment-picture.html>

「三重創生ファンタジスタ」については、県内企業や自治体も加わり、オール三重体制で育成・支援を行っています。本事業を応援していただいている[「三重創生ファンタジスタ応援企業等」](#)をぜひチェックしてください。

NEXT : Q&A / 問い合わせ先

Q&A①

Q1.登録することを今は迷っています。例えば2年次以降に登録したくなった場合、認められないのでしょうか。

A1. 登録手続きはいつでも可能です。ただし、登録にあたり説明すべきこと、注意点等が多々ありますので、地域人材教育開発機構チーム事務室へ相談に来てください。

Q2.最初の意向届提出時は「食と観光」分野で登録を希望しましたが、12単位揃えた後、他の分野の資格を目指した場合、どちらも資格認定されますか。

A2.複数の分野で資格認定はできません。分野の変更は可能ですので、意向届を地域人材教育開発機構チーム事務室まで再提出してください。

Q&A②

Q3.副専攻コースの必要単位数以上修得した場合、その単位はどうなるのでしょうか。

A3.副専攻コースの単位としては認められても、卒業単位として認められるかどうかは、所属学部の履修要項に基づきます。詳しくは、所属学部の学務担当に確認してみてください。

Q4.いつの時点で副専攻コースを修了したことになるのでしょうか。例えば、3年間で修了に必要な単位数を修得した場合、その時点で認定されますか。

A4.修了に何年かけるかは自由ですが、必要単位数を満たしていても、副専攻コースは卒業が決定した時点で修了になりますので、それまでは正式に修了したことにはなりません。但し、「三重創生ファンタジスタ資格取得見込証明書」「学修証明書」は発行されますので、必要であれば申請してください。

Q&A③

Q5.他学部生に開放されている科目を受講した場合でも、三重創生ファンタジスタ資格の対象科目になるのでしょうか。

A5.三重創生ファンタジスタ資格の対象科目になります。ただし、他学部の授業は卒業単位にならない可能性があるため、所属学部の学務担当に確認してみてください。

副専攻コースを履修するうえで、困ったことがあれば下記の問い合わせ窓口ご連絡してください。

三重大学学務部地域人材教育開発機構チーム

所在地：三重大学総合研究棟Ⅱ 3階 336（地域人材教育開発機構チーム事務室）

TEL:059-231-9969

MaiL:jimu@cocpls.mie-u.ac.jp